

# 平成26年度の 地域密着型金融の取組み状況

## 目次

1. 地域密着型金融の取組みの概況について …………… 1
2. 具体的な取組み内容について …………… 1
  - (1) 顧客企業に対する  
コンサルティング機能の発揮 …………… 1
  - (2) 地域の面的再生への積極的な参画 …………… 8
  - (3) 地域や利用者に対する積極的な情報発信 …………… 10

## 1. 地域密着型金融の取組みの概況について

平成26年度のわが国経済は、「大胆な金融政策」、「機動的な財政政策」、「民間投資を喚起する成長戦略」の一体的推進により、緩やかな回復基調が続いているものの、持続的な成長を実現するには不十分な状況であります。

こうした状況の中、当金庫は平成26年度も「顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮」、「地域の面的再生への積極的な参画」、「地域や利用者に対する積極的な情報発信」を地域密着型金融の柱として、営業店と本部が一体となってお客さまのニーズに応じた取組みに一層注力しました。

## 2. 具体的な取組み内容について

### (1) 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

#### 1-1 ライフステージ等に応じた取引先企業への支援

##### ● 創業・新事業開拓を目指す企業への支援

###### 産学公連携による創業・新事業支援

京都全域の産業育成の中心的役割である京都産業育成コンソーシアムが主催する京都文化ベンチャーコンペティションに参画し、京都中央信用金庫賞を内藤印刷株式会社様へ授与しました。

また、きょうと農商工連携応援ファンド支援事業助成金、きょうと元気な地域づくり応援ファンド支援事業助成金、きょうと農林漁業成長支援ファンド支援事業助成金等ファンドへの出資による支援も行っています。

###### 女性のための創業支援

小規模な事業からスタートして事業拡大までの課題と解決方法を考えていく「京女創業寺子屋」セミナーを京都リサーチパーク(株)と共催で3日間開催し、8名の女性創業希望者を支援しました。このセミナーは京都府・京都市が指定する起業家育成セミナーとなっております。

開催日：平成26年 9月20日

平成26年10月18日

平成26年11月15日

###### 医療系開業支援

医療系に特化した税理士・医療系企業との連携による開業支援を行い、一般社団法人京都府医師会・特例社団法人京都府歯科医師会・京都府歯科保険医協会・特例社団法人京都府歯科技工師会、滋賀県医師協同組合等と連携した制度融資による支援を行っています。

医師会名	制度融資による支援の件数 および金額		うち開業支援	
	件数	金額	件数	金額
京都府医師会	8件	295百万円	4件	175百万円
滋賀県医師協同組合	3件	28百万円	0件	0百万円
合計	11件	323百万円	4件	175百万円

## 認定経営革新等支援機関としての創業・新事業支援

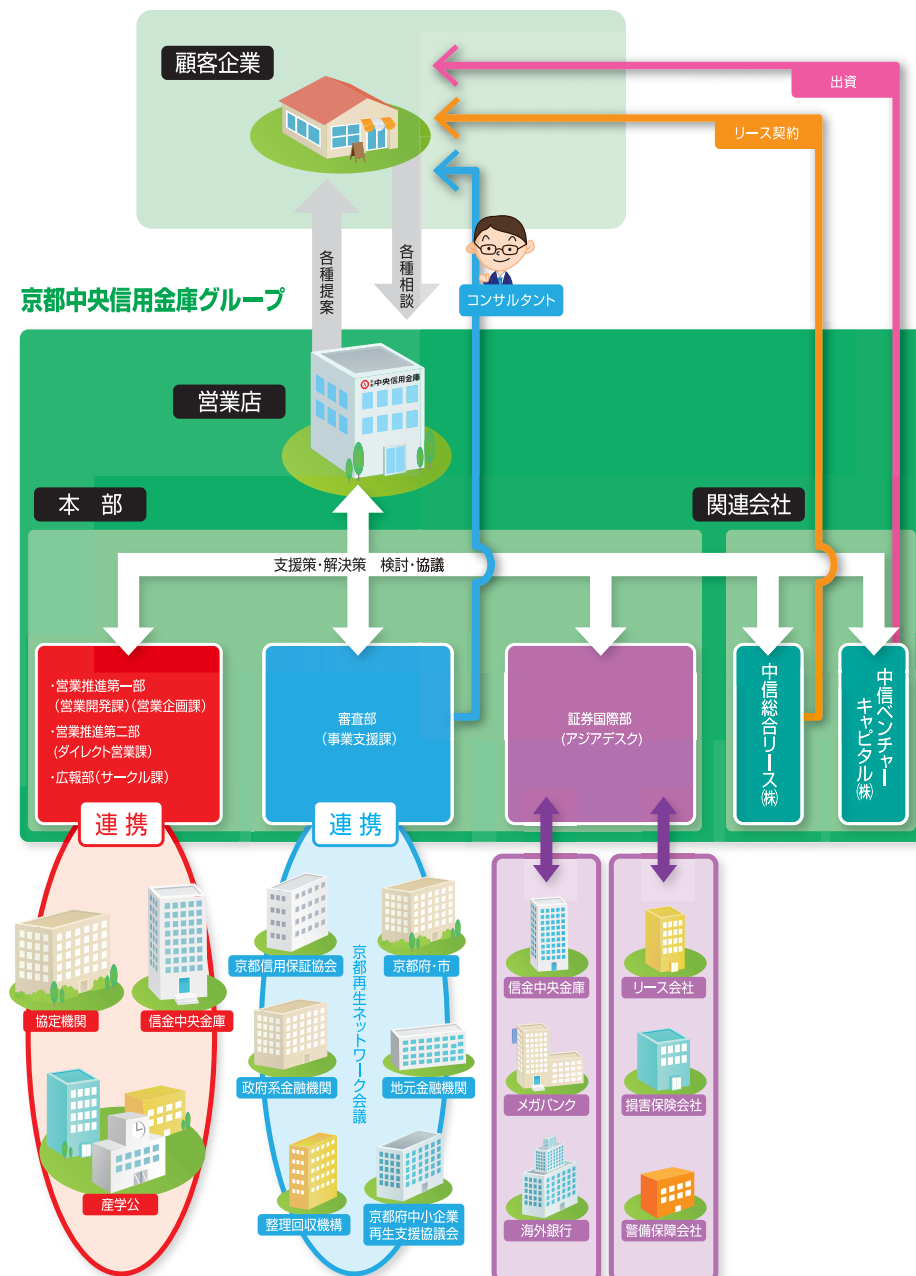
認定経営革新等支援機関として創業補助金申請に対する助言対応等の支援を行っています。

	創業	※第二創業	合計
申請件数	39件	1件	40件
採択件数	7件	0件	7件
採択率	17.94%	0.00%	17.50%

※第二創業：既に事業を営んでいる事業者が業態転換や新事業・新分野への進出を行うこと。

## ● 成長段階における更なる飛躍が見込まれる企業への支援

### 中小企業の経営支援に関する態勢組織図



## 『中信ビジネスフェア2014』

当金庫主催の京都府下最大級の異業種交流複合イベントを開催しました。

出展数：291企業・団体  
来場者数：9,400名（過去最多）  
ビジネスマッチング：成約87件



### 「創出支援セミナー」

「ひらめきに大企業の技術をプラスした新製品づくり」と「次世代エネルギーと産業化への展望」の2本のセミナーを開催。

参加者合計:127名



### 「海外進出・海外業務相談」

「ちゅうしん貿易投資相談会（個別相談）」の開催や証券国際部アジアデスクのブース設置により海外進出・海外業務相談を受付。

来訪社合計:17社

「中信ビジネスフェア2014」（平成26年10月15日・16日開催）では、新たな取組みとして、中信サクセスクラブ会員（約1,200社）に対して、ビジネスマッチング希望の事前予約を受付したところ、53社から210件の予約があり、156件の商談をセッティングすることができました。

## 中信学生デザインコンテスト

### “京風”をテーマとしたパッケージデザイン

商談件数：8件（うち成約1件）  
出品数：13大学・2専門学校 82作品

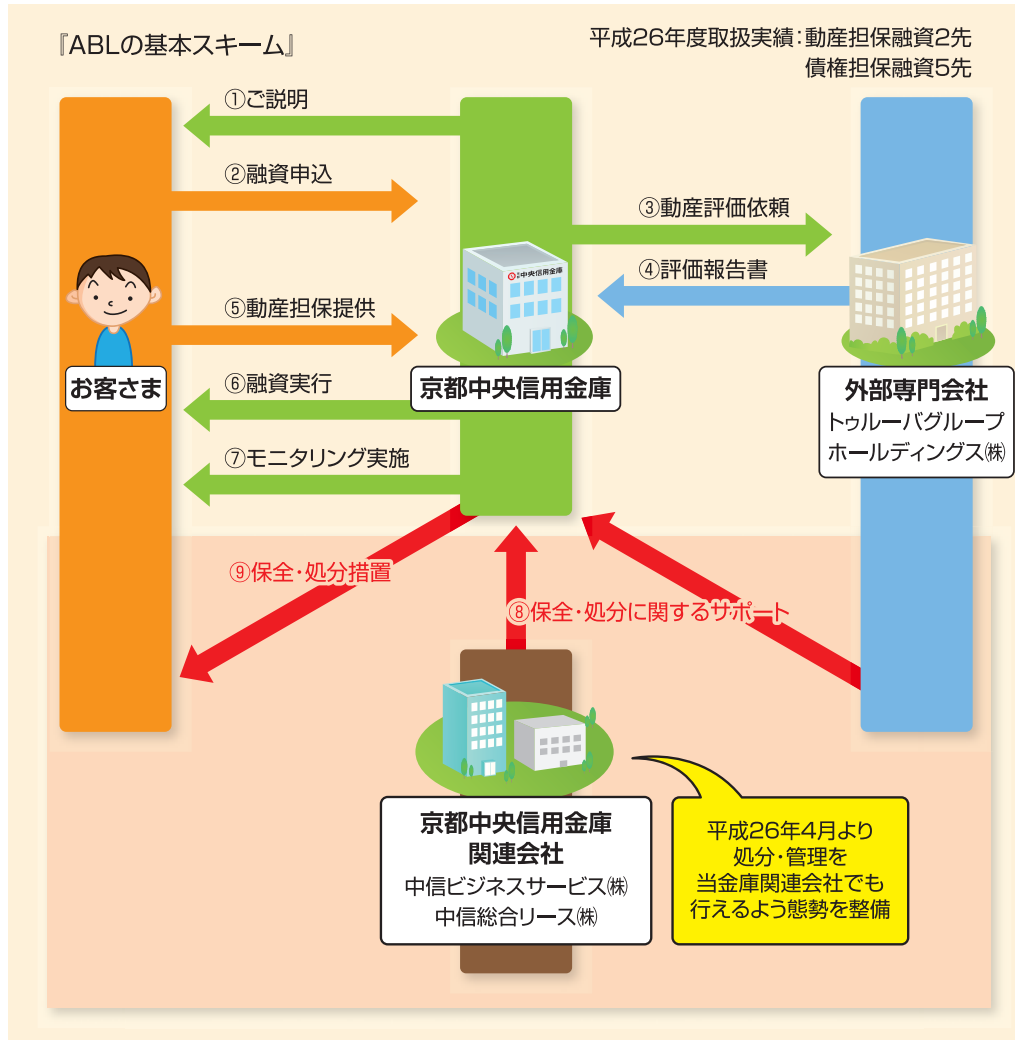


『中信ビジネスフェア2014』の一環として実施した、当金庫の営業エリア内の大学等からアイデアを募ったコンテスト。学生の斬新・創造的なデザインを発掘し、産学連携を通じてビジネスマッチングの機会を提供することで、地元中小企業の発展に寄与しました。

## ABLの導入及び活用

従来の信用保証協会保証によるABL(動産・債権担保融資)に加えて、当金庫としても動産担保融資(平成25年2月～)と債権担保融資(同年6月～)の取扱いを開始しています。

お客様の資金需要に対し新たな調達手段として積極活用を行っています。



## ネットワーク、認証制度の活用

### ①大阪府商工労働部主催「ものづくりB2Bネットワーク」

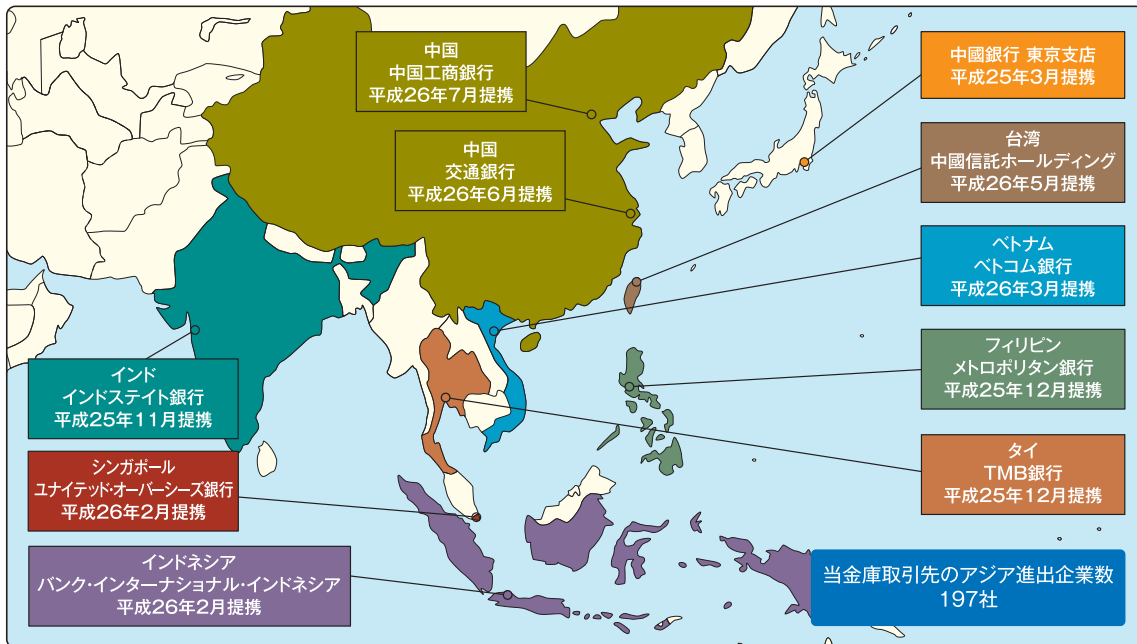
「ものづくりB2Bネットワーク」とは、全国のものづくりに関する発注ニーズを一括して受け、それらのニーズに的確に対応できる大阪の元気なものづくり企業を紹介するために民間と行政が連携して運営する窓口のことです。

当金庫では「ものづくりB2Bネットワーク」への参加を通じて、ビジネスマッチング情報の受発信を行っており、平成26年度は6社からエントリーがありました。

### ②京都府中小企業「知恵の経営」実践モデル企業認証制度

京都府商工会連合会と連携し、「知恵の経営」報告書(知的資産経営報告書)の作成支援や、お客さまと大学教授を交えたお客さま向けの勉強会・セミナーを随時開催するなど、「知恵の経営」実践モデル企業認証の取得支援活動を行っています。平成26年度は1社に認定書が発行されました(累計4社)。

## 海外進出支援



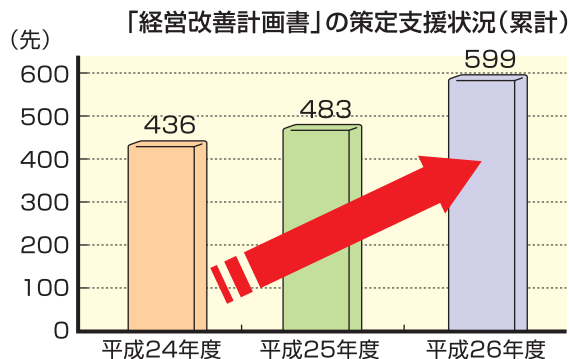
支援内容	平成26年度 実績
海外進出サポート(セミナー参加企業含む)	104社
当金庫提携先(海外銀行、警備保障会社等)への紹介	10社

平成26年度は、海外銀行との業務提携をアジア圏8ヵ国・10行に拡大し、現地での金融サービス提供の他、取引先の販路拡大支援等に取り組みました。また、国際的に通用する人材を育成するため、職員1名を海外に1年間派遣しました。

国内では、「海外進出セミナー(タイ)」「海外工業団地相談会(タイ・ベトナム・インドネシア)」を新たに開催するなど、支援体制の充実を図りました。

## ● 経営改善が必要な企業への支援

### 経営改善支援先への積極的な取組み



計画書書式ダウンロード

<http://www.chushin.co.jp/kariru/dl.htm>

平成26年度は重点管理する経営改善支援先として前年度同様の2,446先を対象としていましたが、10月に見直しを行い、2,000先(継続1,903先+新規97先)を対象として支援に取り組んでいます。経営改善計画書の策定支援や経営計画のモニタリング、また経営改善に向けた助言・指導を行うなど経営改善をサポートしています。



## 金融円滑化への積極的な取組み

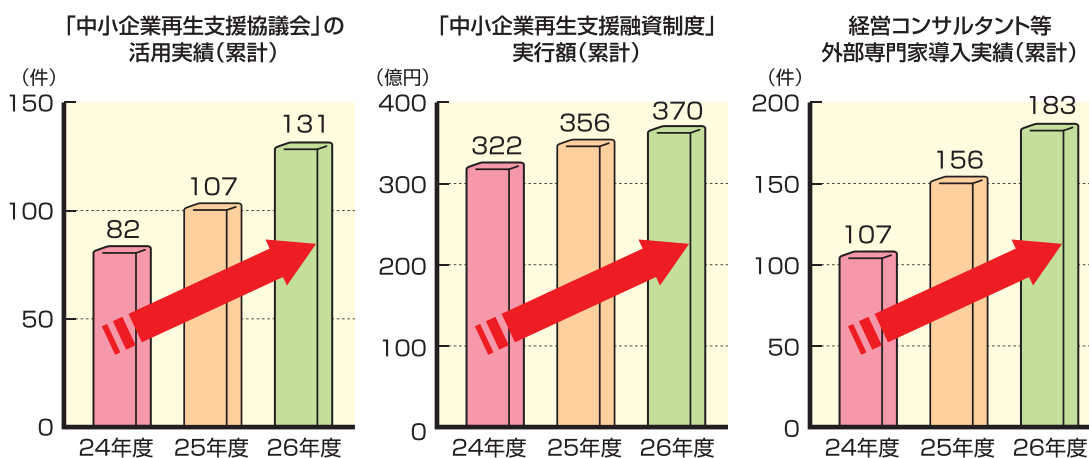
「中小企業金融円滑化法」の趣旨を十分に理解し、中小企業者に対する金融の円滑化、資金調達余力確保のために、政府や信用保証協会の制度等を積極的に活用し、スピーディーな対応に努めました。

平成25年3月末に同法の期限は到来していますが、その後も当金庫の対応方針は何ら変わりなく、お客さまからのお借入に関するご相談、お申込みについて真摯な対応に努めております。

平成26年度 条件変更等の実行件数	
中小企業者	10,241件
住宅資金借入者	1,731件

### ● 事業再生や業種転換が必要な企業への支援

抜本的な経営改善を必要とする取引先企業の早期事業再生のため、「京都再生ネットワーク会議」の機能を十分活用し、中小企業再生支援協議会や信用保証協会などの外部機関や他の金融機関との連携、また経営コンサルタントや公認会計士、税理士などの外部専門家との連携に努め、各種企業再生スキーム等により事業再生支援に取り組んでおります。



### 事業再生支援取組事例

当金庫取引先のA社(製造業)は、リーマンショック以降の受注量減少から資金繰りが難しくなり、取引先金融機関への返済も困難な状況下にあります。メインバンクである当金庫は、経営改善を図るべく経営者に働きかけ、認定支援機関である顧問税理士と共に経営改善支援センター事業による費用補助を申請しました。その後、企業実態の把握と経営改善に向けた計画書の作成に着手し、A社・顧問税理士・当金庫が三位一体となって企業が改善できるアクションプランを何度も練り直しました。A社としても、経営者が筆頭となって様々なリストラ策を敢行し生き残りへの道筋を示す中で、信用保証協会や他金融機関との連携強化を図り、取引金融機関が協調した長期にわたる返済計画の組み替えを行うことができました。現在は、経営改善計画で策定したアクションプランに基づき再スタートを切っています。

平成26年度「経営改善支援センター」への利用申請持込み実績：124先

## ● 事業承継が必要な企業への支援

営業店と本部が連携体制を構築し、事業承継や後継者問題を抱える取引先企業に対してコンサルティング提携会社の紹介を行っています。また平成26年度は、職員に対してM&Aに関する資格の取得を推奨し、職員のスキルアップを図ることで支援体制を強化しました。

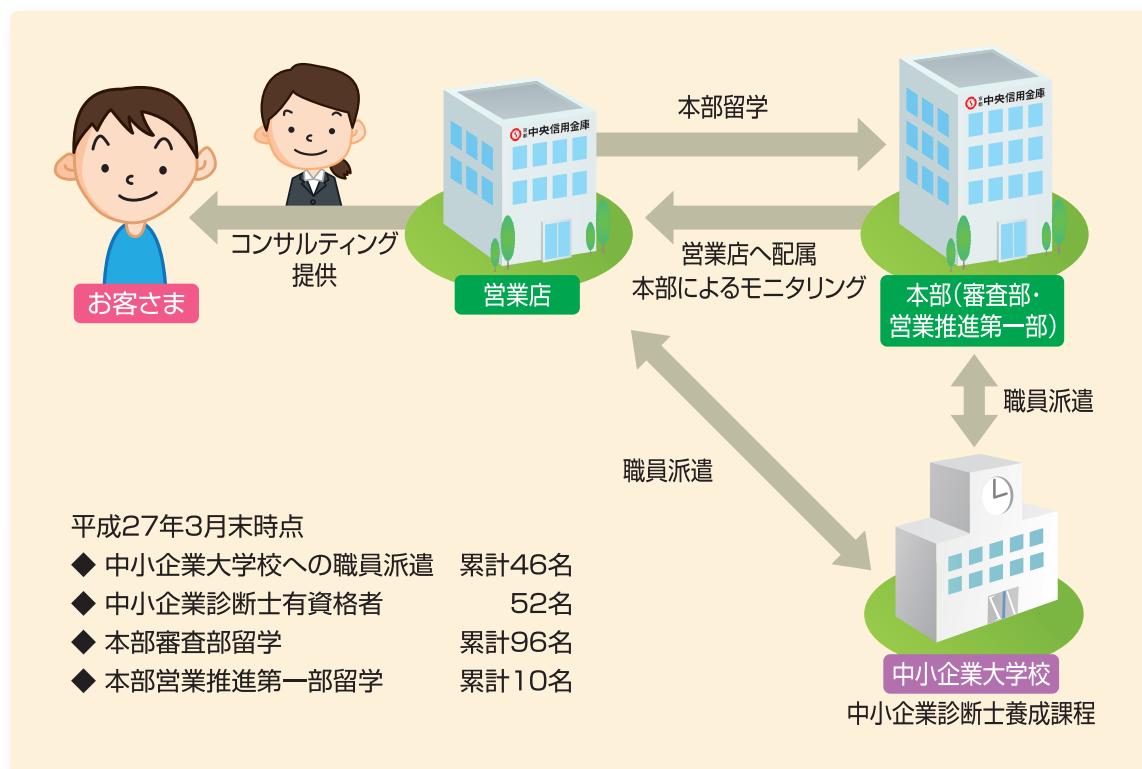
平成26年度の案件数：12件（譲渡2件・買収10件）

M&A資格合格者(平成27年3月31日現在)

資格名	合格者数
M&Aスペシャリスト	2名
M&Aシニアエキスパート	1名
事業承継・M&Aエキスパート	250名

## 1-2 コンサルティング機能の強化

### 本部留学制度等による目利き能力向上



コンサルティング機能を強化するため、営業店職員が本部(審査部・営業推進第一部)へ留学し、融資案件審査やお客さまへの訪問を通じて「目利き能力」の向上に努めています。本部留学期間終了後は、営業店職員としてコンサルティング能力を発揮し、お客さまを支援しています。また、本部留学制度の実効性を高めるため、営業店での業務上の課題や目標等活動状況を本部がモニタリングしています。

その他にも、外部研修への職員派遣や内部研修・勉強会の開催によって目利き能力や融資能力・企業分析力の向上に努めています。



## (2)地域の面的再生への積極的な参画

### ● 地域への適切なコミットメント

#### 地域の人材育成・文化発展・金融知識普及



公益財団法人中道育英会



インターンシップ



中信杯全京都学童軟式野球選手権大会



中信美術館



中信味覚の会



京都市スチューデントシティ・ファイナンスパーク

#### 人材育成

「公益財団法人 中道育英会」による奨学援護(延べ617名)やインターンシップ実習生としての大学生(平成26年度39名)の受入れ、スポーツを通じた小学生の育成など、地域の人材育成に協力しています。金融業務だけでなく、当金庫の社会貢献の姿勢についても理解を深めてもらい、次世代を担う人材の育成に取り組んでいます。

#### 文化発展

「中信美術館」への来場者数は延べ86,889人(平成27年3月31日時点)となり、多くの方々に美術文化に親しんでいただいています。また、「中信味覚の会」による味の文化に触れるサークル活動、「中信宵山狂言会」の開催による伝統芸能・狂言の普及など、地域文化の発展に寄与しています。

#### 金融知識普及

生涯学習の一環として地域の小学校からの営業現場見学の受入れや、大学の「業界研究セミナー」への講師派遣などを通じて地域へ金融知識を普及する活動を行っています。また、「京都市スチューデントシティ・ファイナンスパーク」に模擬店舗を継続して出店しており、平成26年度はファイナンスパーク体験学習会を73回(55校 6,306人)開催し、子どもたちの経済活動の学習に協力しています。

## 環境経営への取組み

環境に配慮した商品等の開発・提供、環境配慮型店舗づくり、省エネルギー・省資源化などの環境保全活動に積極的に取組み、地域社会の持続的発展に貢献していきます。

### 京-VER購入による京都府内の環境活動推進

京都独自のCO<sub>2</sub>排出量クレジット(京-VER)を20t-CO<sub>2</sub>追加購入し、累計で100t-CO<sub>2</sub>のクレジットを取得。

<京-VERは中小企業や地域コミュニティの省エネ活動により、創出されている。京-VERを購入することにより、京都府全体の温室効果ガスの削減に寄与することを目的としている。>



### 環境関連融資商品の開発・提供

#### 京都中信「びわこマイカーローン」

平成26年8月より取扱開始。環境配慮型自動車の購入資金等を融資し、支払われた利息の一部を「マザーレイク滋賀応援基金」に寄付する商品。平成26年度 新規実行実績 689件1,443百万円

#### 中信スーパーエコローン

「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」に係る売電目的の発電設備や節電・環境対策設備の購入資金等を融資する商品。

平成26年度 新規実行実績 40件768百万円



### 地域清掃活動・省資源化活動

- ・「琵琶湖を美しくする運動」をはじめとする地域の清掃活動に参加。
- ・女性職員のユニフォームにはペットボトルを再利用した素材を使用。使用済ユニフォームは回収後、リユースやリサイクル処理。
- ・本支店から出る不要な書類、紙ゴミを回収してトイレトーパー等に再生(粗品や当金庫内の消耗品として使用)。
- ・本店ビルにおいて、カン、ビン、ペットボトル、プラスチック、雑紙等の分別廃棄の徹底。



### 省エネパフォーマンス・環境配慮型店舗

金庫主要施設全体の電気使用量は15,265千kWhとなり、3年連続で平成21年度に比べ15%以上削減できました。

	電気使用量	削減率
平成21年度	19,055千kWh	—
平成24年度	16,040千kWh	▲15.8%
平成25年度	16,158千kWh	▲15.2%
平成26年度	15,265千kWh	▲19.8%

平成26年度に新築建替えした黄檗支店と新設した奈良支店は太陽光発電システム、全館LED照明等の設備を導入。



### (3)地域や利用者に対する積極的な情報発信

#### ● 地域の活性化につながる多様なサービスの提供

##### 地域経済への多様な情報提供

###### 中信経済講演会

企業経営者を対象に「中信経済講演会」を開催し、景気動向や経済分析・見通しなど地域経済活性化のヒントとなる情報を提供しています。

《計3回開催 来場者総数715名》



###### 中信サクセスセミナー

中小企業の事業拡大・経営改善の支援を目的として、経営相談を行っている地元の中小企業診断士による経営セミナーを開催。中小企業の経営者自らの経営目標や課題の実現・解決を支援しています。

《6回開催 参加者総数309名》



###### 年金・相続相談業務

年金や相続に関する疑問解消の為にフリーダイヤルや、テレビ電話による相談業務を随時行っています。

《フリーダイヤル》

年金相談件数 243件

相続相談件数 473件

《テレビ電話》

年金相談件数 5件

相続相談件数 801件

###### ビジネス情報誌『ANONA』

ビジネス情報誌『ANONA(あのおの)』を発行し、地元企業の景気動向調査の結果を提供しています。

《平成26年度 4回発行》



#### ● 地域密着型金融の取組みの発信

##### ホームページやディスクロージャー誌を活用した情報提供

ホームページやディスクロージャー誌に、個人・法人・個人事業主のお客さまに向けた各種商品・サービス、CSRへの取組み(地域文化の育成と振興、環境問題に対する取組み、中小企業支援活動・社会福祉活動)の状況等を掲載しています。

また、金融円滑化や事業再生に対する経営改善への取組み等については、より具体的な取組状況や事例をホームページ上の「地域密着型金融の取組み状況」にて積極的に掲載しています。

